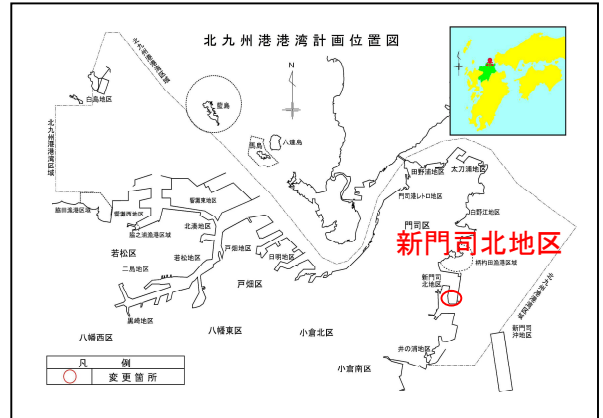


# 北九州港港湾計画の軽易な変更

## 新門司北地区

### ■概要

- 新門司地区は、フェリーを中心とする内貿物流拠点として、西日本最大級のフェリーターミナル（関西4便/日、四国・関東1便/日）を擁している。
- 新門司北地区は、近年ではフェリーの大型化が進んでいるとともに、東九州自動車道の開通により北九州-宮崎間の交通の利便性が良くなったことから、物流拠点としての重要度は非常に高くなってきている。
- そういった背景から今後の物流拠点としての発展性を考慮し、土地利用計画を工業用地から港湾関連用地へ変更する。

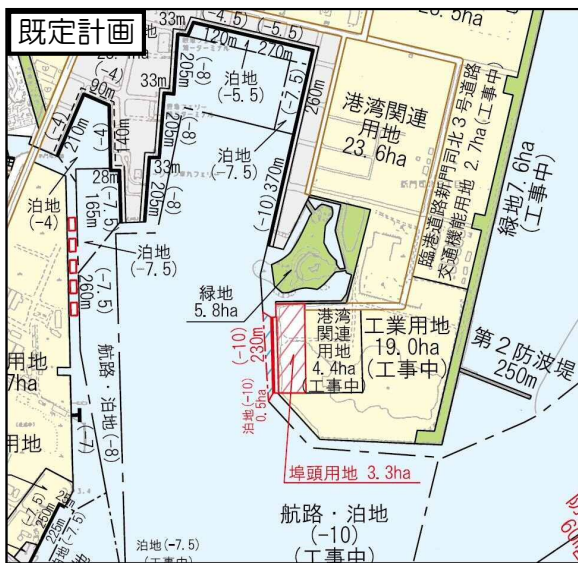


### ■変更内容

#### 【新門司北地区】

#### ○土地利用計画

工業用地 19.0ha ⇒ 港湾関連用地 19.0ha [既定計画の変更計画]



**【土地利用計画】**  
 工業用地 19.0ha  
 ⇒ 港湾関連用地 19.0ha